シネマズライフ

2019年7月5日発行 第166号 http://p.booklog.jp/users/rion-takagi

貴樹 諒音（たかぎ りおん）

【最近のこれはお見事！】『アルキメデスの大戦』戦時中の話で、アルキメデスがどう関係するのかこちらもまた謎めいています。

【最近のこれはまずいぞ！】『広告会社、男子寮のおかずくん』謎めいている題名というより意味不明。

映画の風景 日本の風景

⋇ 京都 御室撮影所 ⋇

← マキノ・プロダクションの花園天授ヶ丘にある御室撮影所。1928年（昭和3年）

『女優霊』という映画があった。こんな映画だ。

新人監督の村井は新作映画に意欲を見せていた。撮影場所は撮影所でも古いスタジオ。

撮影は順調に進むが、フィルムを現像してみると、まったく別の古い映像が映っていた。

実は予算がない為、撮影所に残っていた未撮影フィルムを使っており、撮影したが現像していないフィルムが混ざっていたのだろうと思われた。しかし、村井は子供の頃その映像を見ていた事を思い出し不思議に思う。

その頃から、撮影現場でロケバスにフィルムに映っていた白い服の女が見えたり、奇妙な事が起こり、嫌な予感のした村井はフィルムを預けていた古くから撮影所にいる丸さんに聞くと丸さんはフィルムを処分したという。

映画は田舎に住む姉妹の話で姉役は黒川ひとみと妹役は村上沙織。明るい沙織は撮影にもなじんでいた。ところが突然ひとみが撮影中、ふざけて天井の通路に上がっていた沙織がひとみの目の前に落下し死ぬ。

異様な出来事にスタジオを調べ始めた村井は、恐ろしい事実を知る…。

今回紹介したは御室撮影所は今はない。日本の映画界の黎明期を支えたマキノ・プロダクションが作った撮影所で、もし、今存在していたら、この映画の撮影所より怪異現象が起こる撮影所になったかもしれませんね。

古い建物はどこか謎めいたところがある。しかし、多くの人々が生きていた場所でもあり、その人達の思いを感じるのが楽しみでもある。

『女優霊』1996年日本 監督：中田秀夫 脚本：高橋洋 出演：柳ユーレイ 白島靖代 石橋けい 椎岸季衣 大杉漣

中田秀夫監督はこの映画がきっかけで『リング』を監督、日本での幽霊の定番を塗り替えた“貞子”像の原点の映画です。じわじわと来る恐怖はまた別の怖さがある。

コラム

新しいアイテムは使うべしと思う件

後編

そして、もう一つヒットの要因は、監督はじめ出演者・スタッフ達がSNSを駆逐して多くの人達にアピールしたからだと思う。

ツイッターで公開劇場をアピールしコメントがあれば、いいねをする。出演者・スタッフも劇場挨拶はできるだけ参加。それが広まると地方での公開劇場が決まると、舞台挨拶を地方新聞・雑誌が取り上げる…。

これがヒットの原因になったのだろう。

舞台挨拶もSNSを使っての宣伝もメジャーの映画会社がよくやっている事。ただ、この【手作り感】はたぶん今の映画会社には絶対出せない。

新しいアイテムを駆逐したはいえ、宣伝にここまで【手作り感】を出したのは稀有な事で奇跡ともいえる現象かもしれない。

これからデジタルテレビの大画面化・VR化が本格化すると、《映画館》での上映と共にVR上映館もできるのだろうが、映像に入り込んでしまうVRは、また違うモノになってしまう。たとえば『スタートレック』のホログラムの世界ね。

しかし、VRにしても映画にしても作っている人は人間。今後の【手作り感】満載の上田慎一郎監督の作品も楽しみだし、VRでも新しい作品を作る監督の登場も多いに期待してもいいと勝手に思っている。

終

ウィキペディアを参考にさせていただきました。m(_ _)m

☆【最近のこれはお見事！】は見事な映画の題名の紹介、反して【最近のこれはまずいぞ！】は「これは、まずいぞ！」と思う題名を紹介しています。

on air !

CS・BS放送のオススメ映画を紹介します！

CS・BSのオンエア時間は変更になる場合もありますので確認お願いします。m(_ _)m

『ゲティ家の身代金』

スターチャンネル

2017年 アメリカ
監督 製作:リドリー・スコット
出演:ミシェル・ウィリアムズ クリストファー・プラマー
マーク・ウォールバーグ チャーリー・プラマー
ロマン・デュリス ティモシー・ハットン

7月7日(日)23:15 【チャンネル1】
7月23日(火)21:00 【チャンネル1】
7月28日(日)17:30 【チャンネル1】
8月12日(月)18:15 【チャンネル2】
8月21日(水) 8:30 【チャンネル2】

１９７３年７月。ローマで一人の少年が誘拐された。名前はジョン・ポール・ゲティ３世。アメリカの石油王で大富豪のジャン・ポール・ゲティの孫だ。身代金は１７００万ドル。３世の母ゲイル・ハリスは９年前、３世の父と離婚しておりそんな大金は払えない。

ケチな事で有名なジャン・ポール・ゲティが払う訳もなく、事件を聞いたゲティはさっそく「払わない」宣言。それでもゲイルはジャン・ポール・ゲティに払ってもらえるように頼みに行くがもちろん断られる。実は三世は自由人で最初は狂言誘拐と思われており、身代金も払われず時間が経過するばかりだ。ところが、ゲイルの元に恐ろしいものが送られてきて…。

大富豪でありながら政治にも興味もなく、おそらく自分にしか興味のなかった男の行状は人としてどうかと思う。

『シンドラーのリスト』

スターチャンネル

1993年 アメリカ
監督 製作:スティーヴン・スピルバーグ
製作:ジェラルド・R・モーレン ブランコ・ラスティグ
原作:トーマス・キニーリー
出演:リーアム・ニーソン ベン・キングスレー レイフ・ファインズ
キャロライン・グッドール

7月11日(木)26:45(吹) ⇒7月12日(金)2:45 【チャンネル3】
7月14日(日)25:30 ⇒7月15日(月)1:45 【チャンネル2】
7月26日(金)14:30(吹) 【チャンネル3】

第二次世界大戦中、１９３９年９月ポーランド・クラクフはナチスドイツに占領された。ナチスの党員でもあるドイツ人実業家シンドラーはクラクフにやってきて、元ユダヤ人の所有していた工場を払い下げてもらい軍用工場を立ち上げる。やがて、労働者をクラクフにできたゲットー(ユダヤ人隔離居住区)から安い労働者を雇い事業は成功する。

生真面目な男でもなかったシンドラーは、やがて妻にも見限られる。だが、ドイツ高官達にもワイロなどを渡しプレイボーイ生活を満喫していたがある日、ナチスのユダヤ人達への迫害を目撃し、激しい嫌悪感を覚える…。

始めは事業欲しかなかった男・シンドラー。最後にはナチスに反発するのは人として当然だろうし、他にもユダヤ人を匿ったドイツ人もいてこういう時に人間の【心根】が分かる。

「七つの会議」

2019年 日本
監督：福澤克雄
原作：池井戸潤 音楽：服部隆之
出演：野村萬斎 香川照之 及川光博
片岡愛之助 顔出演 朝倉あき 吉田羊
土屋太鳳 小泉孝太郎 滝藤賢一

大手メーカーの子会社東京建電。会議室では営業会議が行われていた。営業部長・北川の下、板戸率いる営業一課は今回もノルマを達成したが、原島率いる営業二課は今回もノルマが達成できなかった。激しく叱責される。そんな中でも一人居眠りしている男が一人。

男の名前は、八角民夫、通称《居眠りハッカク》。ノルマもそこそこにいるのかいないのかわからない男だ。

以後、板戸は八角に何かと冷たく当たるが、八角は気にもせず、《有給休暇》を申請。板戸は拒否し、態度の悪い八角を叱責する。

すると、八角は板戸を【パワハラ】で訴えるが、会社は拒否すると思いきや、会社の《パワハラ委員会》で板戸は左遷される。

代わりに営業二課の原島が一課を任されるが、成績はがた落ち。そこで板戸のやり方に原島は疑問を持つ…。

硬い銀行のお話を4人が語り興味津々。特に気弱な営業部長役の及川光博がユーモアたっぷりに探偵役を買って出て最後まで飽きさせない。

これからの時代、新しい産業革命がAI登場と言われているが、結局AIを動かしているのは人間。AIがミスしても謝罪し訂正するのも人間だ。

これから、ますます八角・原島のような人間らしい銀行員が必要になってくるのではないかなと。

Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie CinemaFilm Movie Cinema Film Movie

☆読んで頂いてありがとうございました。よろしかったらご感想・お叱りお聞かせください。よろしくお願いします！m(_)m 貴樹諒音

☆次回発行は7月19日です。今月の発行予定は第1・3金曜日です。

【編集後記】

☆7月に入り、普通なら梅雨が終わる季節。しかし、今年はこれから梅雨が本格的になるそうだ。しかし、天気予報を見ると降るのか降らないのか微妙感じ。ただでさえ曖昧な日々が続いているのに天気でさえ曖昧とはねぇ。

いよいよ本格的な梅雨の時期
皆様お体お大事に。
かしこ。m(_ _)m

シネマズライフ166号
✕ 発行人：貴樹諒音 ✕
発行日：2019年7月5日
cinemaz-life@movie.nifty.jp
✕ 告知ブログ ✕
http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/

シネマズライフーcinemaz-lifeー １６６号

http://p.booklog.jp/users/rion-takagi
著者：貴樹 諒音
メールアドレス **cinemaz-life@movie.nifty.jp**
著者紹介ブログ 『明後日の憂鬱』
http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/2012/01/post-bcc7.html

【写真素材-フォトライブラリー】
の画像を使わせてもらっています。

《スターチャンネル》
『ゲティ家の身代金』
『シンドラーのリスト』

映画の感想は現在・下記のサイトにアップしています。
ぜひ、ご覧くださいませ。

Yahoo!映画
rion_takagiのMyムービー
https://movies.yahoo.co.jp/my/profile-g.uFIUaEfCFw6D1cq3gb5A--/

お世話になっているインターネットＴＶ
netchannel KYO
§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※
感想はこちらのコメント欄かメールを頂けたら幸いです。
cinemaz-life@movie.nifty.jp
§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※

電子書籍プラットフォーム：パブー（http://p.booklog.jp/）
運営会社：株式会社トゥ・ディファクト